

■ 壬生町のバランスシート(平成 16 年度) 平成 17 年 3 月 31 日現在

借方

(単位:円)

[資産の部]

1.有形固定資産	(全体)	(1人当たり)
(1) 総務費	7億 3,204万	18,353
(2) 民生費	10億 1,488万	25,445
(3) 衛生費	44億 163万	110,355
(4) 労働費	1,638万	411
(5) 農林水産業費	7億 5,488万	18,926
(6) 商工費	15億 5,761万	39,052
(7) 土木費	202億 7,785万	508,395
(8) 消防費	2億 2,664万	5,682
(9) 教育費	135億 5,131万	339,751
(10) その他	2,670万	669
有形固定資産合計	425億 5,992万	1,067,039
(うち土地)	135億 5,848万	339,931
2. 投資等	(全体)	(1人当たり)
(1) 投資及び出資金	4億 8,016万	12,038
(2) 貸付金	9,668万	2,424
(3) 基金	25億 5,692万	64,106

貸方

(単位:円)

[負債の部]

1. 固定負債	(全体)	(1人当たり)
(1) 地方債	66億 9,400万	167,828
(2) 債務負担行為	0万	0
(3) 退職給与引当金	14億 9,716万	37,536
固定負債合計	81億 9,116万	205,364
2. 流動負債	(全体)	(1人当たり)
(1) 翌年度償還予定額	7億 7,584万	19,451
(2) 翌年度繰上充用金	0万	0
流動負債合計	7億 7,584万	19,451
負債合計	89億 6,700万	224,815
[正味資産の部]		
1.国庫支出金	(全体)	(1人当たり)
	44億 2,684万	110,987

(4) 退職手当 組合積立金	5億 2,179万	13,082
<hr/>		
投資等合計	36億 5,555万	91,650
<hr/>		
3. 流動資産	(全体)	(1人当たり)
(1) 現金・預金	18億 7,501万	47,009
(2) 未収金	7億 7,990万	19,553
<hr/>		
流動資産合計	26億 5,491万	66,562
<hr/>		
資産合計	<u>488億 7,038万</u>	<u>1,225,251</u>

2. 都道府県 支出金	10億 5,019万	26,330
3. 一般財源等	344億 2,635万	863,119
<hr/>		
正味資産合計	399億 338万	1,000,436
<hr/>		
負債・正味資産 合計	<u>488億 7,038万</u>	<u>1,225,251</u>

※債務負担行為に関する情報

- ①物件購入に係るもの 0円
- ②債務保証又は損失補償に係るもの 0円
- ③利子補給に係るもの 366万円

■ バランスシートからわかること

平成17年3月31日現在で、壬生町の総資産は合計で約489億円となりました。一方、負債は全体で約90億円、その差である正味資産は約399億円です。

平成15年度末と比較すると、資産総額は1.2%の減、負債総額は0.7%の減、正味資産は1.3%の減となっています。

1. [資産の部] の状況

資産の部では、有形固定資産(建物、土地等)が約426億円で資産全体の約87%を占め、残りが基金(積立金)、貸付金、未収金などで約63億円となっています。

有形固定資産を行政目的別に見ると、道路、公園などの土木費が約203億円(48%)と最も多く、次に小中学校や公民館、図書館などの建設事業費を含む教育費が約136億円(32%)、清掃センター建設や最終処分場建設などを含む衛生費が約44億円(10%)となっています。

2. [負債の部] の状況

負債の部では、町債(借入金)の償還が固定負債、流動負債を合わせて約75億円で負債全体の約83%退職給与引当金が約15億円で約17%の割合となっております。

3. [正味資産] の部の状況

正味資産の部では、町が保有している資産のうち、町民の皆様からの税金等により形成された一般財源等は約344億円で、正味資産全体の約86%にあたります。また、町有資産のうち国・県支出金により形成された金額は約55億円となっております。

■ バランスシートを活用した財務分析

- 社会資本形成の世代間負担比率

社会資本形成の結果を表す有形固定資産のうち、正味資産によって形成されている比率です。正味資産は、主に、今までの世代の負担によって形成された社会資本の額を指しています。他方、負債は将来の世代の負担によって形成された社会資本の額を指します。したがって、その依存割合が世代間負担の指標となります。

正味資産合計 / 有形固定資産合計 → 39,903 百万円 / 42,560 百万円 = 93.8%

(これまでの世代による社会資本形成の比率、高いほど良い)

負債合計 / 有形固定資産合計 → 8,967 百万円 / 42,560 百万円 = 21.1%

(後世代による社会資本形成の比率、低い程後世代の負担が少ない)

- **予算額対資本比率**

歳入総額に対する資産の比率で、資産形成のために何年分の歳入が充当されたかを示すものです。

資産合計 / 歳入合計 → 48,870 百万円 / 10,564 百万円 = 4.63 年分

- **正味資本比率**

企業会計で使用される自己資本比率に相当し、この比率は保有する総資産のうち返済義務を負わない部分がどの程度あるのかということを示す指標です。

正味資産合計 / 負債・正味資産合計 → 39,903 百万円 / 48,878 百万円 = 81.7%